

2010年10月12日 JR東日本 「図で考える人は仕事ができる」(基礎編) アンケート

今までにない視点でのものの捉え方を考えることができた。

細かいところまで指摘されて頂き嬉しく思った。

箇条書きで仕事をしている我々には、大変革命的な講義でした。

久恒先生の講義は端的で、分かりやすかった。

「箇条書きを疑え」ということが目からうろこの言葉でした。図と言葉は、「鳥の目」で物事の関係性が分かり理解しやすいと実感した。

活字だけより図は断然理解しやすいことに驚いた。

図を用いて示すことこそ、一番信憑性があり、正しい手法であるということを理解した。

ライフデザインとは、人生の中での公・私 の図であるとの考えはとても興味深く感じた。

気付かずにいたことを発見できた。当社の仕事はどのような部門も全てつながっているのだと改めて感じる事ができた。

30歳を迎え、仕事に何らかのきっかけを欲していたが、掴めた気がする。

今まで書いてきた文章・箇条書きがあいまいなものであるという事は、とても新鮮に感じた。

今日は貴重な一日となった

なるほど！と思うようなことばかりでした。久恒先生の本を読ませていただきます。

今までの考え方が変わりました。

箇条書きを疑うということは盲点でした。自分で考え、自分に合ったやり方を見つけ、身長を伸ばしたいと思います。

講師の経歴、心がけてきたことのお話しが面白かった。

今後の人生がより良くなると実感できた。

先生の一つ一つの言葉には深く重みがあり、「鳥の目、虫の目」また同じ目線で物を見るなど参考になった。

久恒先生がまわってこられたときに質問すると、本当に深い、よく考えられた回答をいただき感動しました。仕事への心構え、意識、視点の話も興味深かったです。

来年もセミナー参加します。

鳥の目の視点という考え方は、とても新鮮でとても面白い考え方だと思った。一人一人の図解が違う事にも驚いた。

箇条書きはダメだという言葉に、衝撃を受けた。

経営計画を自分なりに図にしてみようと思った。

経験談や社会人としてあるべき姿についても語っていただき大変勉強になった。

とてもおもしろい講義でした。

文章はあやふやであり、図で表すと、分かりやすくなる、ということに気づいた。

近い職種をしている人でも図解が全く違ったのが面白く、また参考になりました。先生の本を読んで、本日のセミナーの復習をしたいと思います。

図を描いているうちに、考えがまとまったことに気がきました。また、同じ職場なのに、図が違っているのが、興味深かったです。

自分自身のキャリアデザインもしっかり考えたい。

いつも慣れている社内の言葉は特殊方言であるという言葉にはハッとさせられました。最大の教育者は自分自身という言葉に胸に、これからも「図で考える」ことを実践していきたいと思えます。

志を高く持って業務に励みたい。「図解」の訓練を通じて、自己啓発能力を高めていきたい。

図を描いてみて、頭をフル稼働させなければいけないのだと分かった。

あまり周りのことは見えてなかったことに気付いた。

これからの自分の成長に役立てていきたいと思う。

図で考える事により、体系的にとらえることができ、物事を論理的に判断することができることを実感できた。

新しい角度から物事を見る事ができた。何が大切なのか、どのように周りが動いているか見直せました。

脳の活性化を感じた。今後は図で考えるくせをつけ自分自身の能力をあげられるよう幅広い視野を持ちたいと思う。